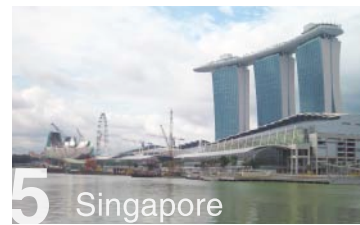
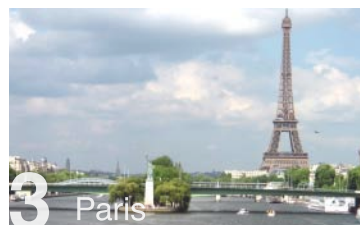
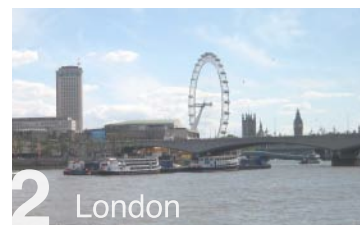


世界の 都市総合力 ランキング

Global Power City Index 2011

概要版



2011年10月

はじめに

「Global Power City Index」は、地球規模で展開される都市間競争下において、より魅力的でクリエイティブな人々や企業を世界中から惹きつける、いわば都市の“磁力”こそが「都市の総合力」であるとの観点に立ち、世界の主要都市の総合力を評価し、順位付けしたものである。

森記念財団は、2008年に初めて「Global Power City Index」をリリースして以来、ホームページやメディアを通じて精力的に世界に発信してきた。その結果、ニューヨーク、上海、マドリードをはじめ、数多くの海外の国際シンポジウムに招待されることになり、その評価の高さを実証した。その間、世界を代表する数々の研究機関とも、都市の競争力をテーマに活発な意見交換を行ってきた。

2011年版は、これまでのランキング作成過程で得られた豊富なデータベースから複数の指標を取り上げて経年比較を行い、東京をはじめ世界の代表都市の成長・停滞の様子を観測している。これらの詳細な結果は2011年末に発行予定の「GPCI-2011 YEARBOOK」にて明らかにされる予定である。

「Global Power City Index」の結果が、東京や世界の都市が持つ魅力や課題の再認識と同時に、都市の政策立案や企業戦略形成に役立てられることを期待したい。

「Global Power City Index」(GPCI) の特徴

1. 都市の総合力を分析し、ランキングする調査研究として日本初の取り組みである。
2. 特定分野（「金融」や「住みやすさ」等）ではなく、都市の力を表す様々な分野を対象として都市の総合力を評価したランキングである。
3. 世界を代表する主要 35 都市を選定し、都市の力を表す主要な 6 分野（「経済」「研究・開発」「文化・交流」「居住」「環境」「交通・アクセス」）と、さらに現代の都市活動を牽引する 4 つのグローバル・アクター（「経営者」「研究者」「アーティスト」「観光客」）に、都市の「生活者」を加えた 5 つのアクターの視点に基づき、複眼的に都市の総合力を評価している。
4. 指標は、独自に収集したデータに改訂する、また収集方法を充実させるなど、2010 年版にさらに改良を加えている。
5. ランキング調査結果から顕在化した東京の弱みを克服するための課題を明らかにしている。
6. 都市研究に関する世界的権威であるピーター・ホール卿をはじめとする学識者によるコミッティを設置し、各界の有識者等の参画と、国際的な専門家によるピアレビュー（第三者評価）を得たランキングである。

GPCI-2011 で明らかになった主なポイント

Key Message

- ◆東京は依然として4位にとどまっているが、上位都市の中での国際競争力には、かげりが見られる。
- ◆5位以降の第2グループの都市の中では、シンガポール、ソウル、香港、北京、上海等のアジア都市の躍進が見られ、トップ4都市との差を縮めている。一方で、欧州都市の停滞傾向が見られる。

1. 分野別総合ランキング（全体の傾向）（P.8）

2011年の分野別総合ランキングは、1位ニューヨーク、2位ロンドン、3位パリ、4位東京となり、GPCI-2008以降4年連続でトップ4都市の顔ぶれと順位に変化はなかった。トップ4都市に続く第2グループは、5位のシンガポールが頭ひとつ抜けているものの、6位のベルリンから24位のブリュッセルまでのスコア差は40点以内であり、この第2グループ内では比較的大きな順位変動がみられる。なお、下位グループとして25位のトロントから35位のカイロが続くが、これらの都市は小幅な順位変動に留まっている。

GPCI-2010からGPCI-2011にかけての東京のスコアの変化を見ると、パリとのスコア差が2.8ポイントから4.4ポイントに拡大し、シンガポールとのスコア差が56.1ポイントから49.0ポイントと7.1ポイント縮まっている。依然として、トップ4都市と第2グループの先頭に位置するシンガポールとのスコアの差は大きいものの、シンガポールがこのままスコアを伸ばした場合、東京は7年で追いつかれることになる。なお、2008～2011年にかけて東京と第1位であるニューヨークとのスコア差は徐々に縮まっている。

第2グループ内での順位変動を見ると、アジアの主要都市であるソウル、香港、北京、上海、大阪が軒並み順位を上げ、特に北京は24位から18位へと躍進した。これは北京が経済分野の指標において大きく上昇したことが要因として挙げられる。米国の都市についても、ロサンゼルス、ボストン、サンフランシスコが順位を上げ、停滞傾向からの復調の兆しが見える。一方で、カナダ、オーストラリア、ならびに欧州の都市の多くが順位を下げている。

2. 分野別ランキング（P.9）

分野別総合ランキングでのトップ4都市は、経済・研究・開発、文化・交流、交通・アクセスの各分野において、10位以内と力強さを発揮しているが、居住・環境分野では必ずしも上位にはランクされていない。その中で、東京はいずれの分野においても、唯一、一桁の順位を獲得している都市であり、バランスのとれた総合力を発揮していると言えよう。

経済分野では、ニューヨークがリーマンショック（2008年9月）の影響による落ち込みを見せたために、東京が1位へと浮上した。研究・開発分野では昨年と同様ニューヨークが高いスコアを維持し、他都市を引き離している。文化・交流分野では、ロンドン、パリ、ニューヨークの上位3都市が高いスコアとなっており、4位以下の都市とのスコア差が大きい点が特徴的である。居住分野では、ヨーロッパ・北米都市と並んで、日本国内の都市が上位に食い込んでいる。環境分野では、例年と同様の傾向で欧州の都市が上位5位を占めている。交通・アクセス分野ではトップ4都市が強さを発揮している。

3. アクター別ランキング (P.10)

トップ4都市はどのアクターから見ても評価が高くなっているが、東京は「経営者」の評価が8位と相対的に低い。昨年、北京・上海に肉薄されていた状況から、今年はずいに抜き去られる結果となった。経済分野の各指標において東京が低迷している一方で、北京・上海が躍進したことが、逆転に結びついた。また、ニューヨークについても「経営者」からの評価が1位から4位に低下している。リーマンショック(2008年9月)の影響による経済指標の落ち込みによるものと見られる。

総合ランクでは中位圏となっている北米・欧州都市は、昨年と同様に「アーティスト」と「生活者」からの評価が高く、1~10位内を占めている。

4. 分野別総合ランキングトップ4都市の比較分析<分野別> (P.11)

トップ4都市の偏差値を比較すると、昨年と同傾向である。ニューヨーク、ロンドンは居住、環境分野で、パリは環境分野で比較的低い評価となっているが、ニューヨークは研究・開発分野が、ロンドンは文化・交流分野が平均以下の分野を補うように評価が高くなっている。東京は、文化・交流分野がトップ3都市と比較して劣るものの、全ての分野で平均以上の評価を得ている。しかしながら、後述の「6. 東京の強み・弱みの分析」にあるとおり、東京は平均以上の評価を得ているものの、トップ3都市と比較して“抜きん出た強み”を発揮する分野がないために、4位に留まっているというのが現状である。

5. 東京とアジア主要都市の比較分析<分野別> (P.11)

アジア主要都市の偏差値を比較すると、東京は文化・交流以外の分野でいぜん優位性を保持しているものの、経済分野では北京が追い上げを見せている。交通・アクセス分野では、成田空港からのアクセス時間の短縮に伴い、他のアジア主要都市と比して東京の評価が高くなった。北京・上海については、研究・開発、環境分野で平均を下回っており、両都市の弱みとなっている。

6. 東京の強み・弱みの分析 (P.12-13)

東京の強み・弱みを指標グループ別にみると、経済、研究・開発分野に強みが多く、他の分野では「買物と食事」、「都市生活機能」、「エコロジー」、「都市内交通インフラ」が強みとなっている。一方で、弱みとなっている指標グループは、「法規制・リスク」、「宿泊環境」、「住居コスト」、「自然環境」であり、偏差値50を下回っている。

GPCI-2010とGPCI-2011における東京の強み、弱みを比較すると、研究・開発分野の「受入態勢・支援制度」「研究開発成果」、居住分野の「都市生活機能」、交通・アクセス分野の「国際交通インフラ」で昨年よりも評価が高まった。なお、経済分野の「ビジネス環境」、研究・開発分野の「研究環境」、文化・交流分野の「宿泊環境」で、昨年よりも評価が下がった。

7. 経年変化 (P.14)

東京の経年変化をみると、経済集積は大きいものの、世界トップ企業のスコア減少や海外からの訪問者数の減少など、相対的な競争力低下の兆しが見られる。

1. GPCI-2011 の特徴

1-1. GPCI-2011 の策定体制

本ランキングは、竹中平蔵 森記念財団都市戦略研究所 所長/慶應義塾大学 教授 を委員長とし、都市研究に関する世界的権威であるピーター・ホール卿をはじめとする学識者によるコミッティを設置し、各界の識者等の参画と、国際的な専門家によるピアレビュー（第三者評価）を得たランキングである。

コミッティは、ピーター・ホール ロンドン大学 教授を最高顧問 (Principal Advisor) とし、竹中平蔵 慶應義塾大学 グローバルセキュリティ研究所 所長・教授 を委員長とする計5名で構成し、ランキング作成過程の節目でのスーパーバイズを行っている。

分析は、市川宏雄 明治大学 専門職大学院 院長・教授を主査とするワーキング・グループによる検討作業を重ね、各界の有識者からグローバル・アクターの視点にもとづく助言を得ながらランキング作成を進めた。

なお、こうしたランキングの作成過程及び結果の妥当性については、2名の第三者評価者（ピアレビューアー）に評価を依頼し、内容の確認及び改善点の指摘を受けている。

GPCI-2011 はこうした体制のもと、最終的に取りまとめられたものである。

図 1-1 策定体制



1-2. GPCI-2011 の対象都市

図 1-2 対象 35 都市



エリア	都市
ヨーロッパ	マドリッド、ロンドン、パリ、ブリュッセル、アムステルダム、ジュネーブ、フランクフルト、ベルリン、チューリッヒ、ミラノ、コペンハーゲン、ウィーン、モスクワ
アフリカ	カイロ
アジア	ムンバイ、バンコク、クアラルンプール、シンガポール、香港、北京、上海、台北、ソウル、福岡、大阪、東京
オセアニア	シドニー
北アメリカ	バンクーバー、サンフランシスコ、ロサンゼルス、シカゴ、トロント、ニューヨーク、ボストン
南アメリカ	サンパウロ

※都市の並びは、経度が小さい順となっている。

1-3. ランキングの作成方法

図 1-3 分野別ランキングの作成フロー



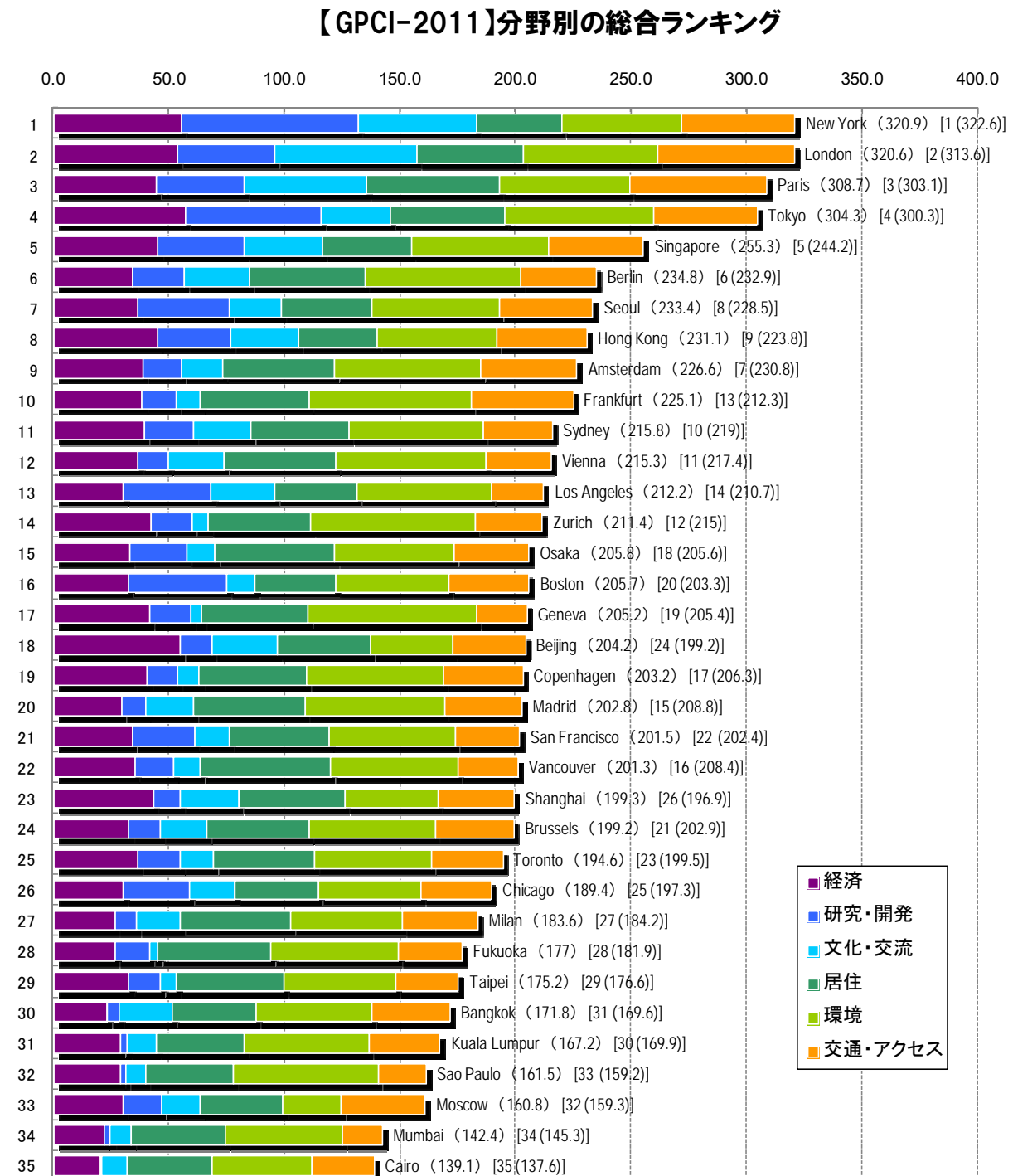
図 1-4 アクター別ランキングの作成フロー



2. GPCI-2011 の結果

2-1. 分野別総合ランキング

図 2-1 分野別総合ランキング結果



※ []内の数値は昨年度のランクおよびスコア

2-2. 分野別ランキング

表 2-1 分野別ランキング

ランク	総合スコア	経済	研究・開発	文化・交流	居住	環境	交通・アクセス							
1	New York	320.9	Tokyo	57.2	New York	76.3	London	61.4	Paris	57.5	Geneva	73.0	Paris	59.3
2	London	320.6	New York	55.5	Tokyo	58.8	Paris	52.9	Vancouver	56.4	Zurich	71.5	London	59.0
3	Paris	308.7	Beijing	55.0	Boston	42.5	New York	51.1	Osaka	51.6	Frankfurt	70.5	New York	49.3
4	Tokyo	304.3	London	53.8	London	42.1	Singapore	34.0	Berlin	49.8	Berlin	67.4	Tokyo	44.6
5	Singapore	255.3	Singapore	45.4	Seoul	40.0	Tokyo	30.0	Tokyo	49.2	Vienna	64.7	Frankfurt	44.1
6	Berlin	234.8	Hong Kong	45.0	Los Angeles	38.4	Hong Kong	29.5	Fukuoka	48.9	Tokyo	64.5	Amsterdam	41.4
7	Seoul	233.4	Paris	44.7	Paris	37.9	Berlin	28.3	Amsterdam	48.8	Amsterdam	63.3	Singapore	41.1
8	Hong Kong	231.1	Shanghai	43.3	Singapore	37.1	Beijing	28.2	Madrid	48.3	Sao Paulo	62.9	Seoul	40.2
9	Amsterdam	226.6	Zurich	42.5	Hong Kong	31.7	Los Angeles	27.5	Vienna	48.2	Madrid	60.1	Hong Kong	39.0
10	Frankfurt	225.1	Geneva	41.7	Chicago	29.0	Shanghai	25.6	Milan	47.9	Copenhagen	59.2	Moscow	36.1
11	Sydney	215.8	Copenhagen	40.8	San Francisco	26.6	Sydney	25.0	Frankfurt	47.1	Singapore	59.2	Boston	34.5
12	Vienna	215.3	Sydney	39.5	Osaka	24.2	Vienna	24.5	Taipei	46.7	London	58.3	Copenhagen	34.3
13	Los Angeles	212.2	Amsterdam	38.9	Berlin	22.2	Bangkok	23.4	Copenhagen	46.4	Sydney	58.2	Brussels	34.0
14	Zurich	211.4	Frankfurt	38.5	Sydney	21.2	Seoul	22.2	Geneva	46.4	Los Angeles	58.0	Bangkok	33.9
15	Osaka	206.8	Vienna	36.8	Toronto	18.2	Madrid	20.8	London	46.0	Paris	56.5	Madrid	33.6
16	Boston	205.7	Toronto	36.5	Zurich	17.7	Brussels	20.5	Shanghai	45.9	Seoul	55.7	Shanghai	33.1
17	Geneva	205.2	Seoul	36.3	Geneva	17.7	Chicago	19.2	Zurich	44.3	Fukuoka	55.1	Berlin	32.6
18	Beijing	204.2	Vancouver	35.1	Moscow	17.1	Milan	19.0	Brussels	44.1	Vancouver	55.1	Milan	32.6
19	Copenhagen	203.2	Berlin	34.4	Vancouver	16.9	Amsterdam	17.5	Toronto	43.3	San Francisco	54.9	Osaka	32.2
20	Madrid	202.8	San Francisco	34.4	Amsterdam	16.7	Moscow	16.4	San Francisco	43.1	Brussels	54.5	Beijing	31.4
21	San Francisco	201.5	Osaka	32.9	Fukuoka	15.0	San Francisco	15.2	Sydney	42.3	Kuala Lumpur	54.4	Toronto	30.8
22	Vancouver	201.3	Brussels	32.8	Frankfurt	14.7	Toronto	14.7	Mumbai	40.7	Hong Kong	52.2	Kuala Lumpur	30.5
23	Shanghai	199.3	Taipei	32.7	Taipei	13.8	Kuala Lumpur	12.6	Beijing	40.5	Osaka	52.0	Chicago	30.3
24	Brussels	199.2	Boston	32.6	Beijing	13.7	Osaka	12.4	Seoul	39.0	New York	51.5	Sydney	29.6
25	Toronto	194.6	Chicago	30.1	Brussels	13.3	Boston	12.0	Singapore	38.5	Toronto	50.9	Zurich	28.7
26	Chicago	189.4	Los Angeles	30.0	Copenhagen	12.8	Vancouver	11.8	Sao Paulo	38.0	Mumbai	50.9	Vienna	28.3
27	Milan	183.6	Moscow	30.0	Vienna	12.8	Cairo	10.9	Kuala Lumpur	37.8	Bangkok	50.2	Fukuoka	27.6
28	Fukuoka	177.0	Madrid	29.8	Shanghai	11.4	Frankfurt	10.2	New York	37.2	Boston	49.3	San Francisco	27.3
29	Taipei	175.2	Kuala Lumpur	29.2	Madrid	10.1	Copenhagen	9.6	Cairo	37.0	Taipei	48.4	Taipei	27.0
30	Bangkok	171.8	Sao Paulo	28.8	Milan	9.4	Mumbai	9.0	Chicago	36.7	Milan	48.2	Cairo	27.0
31	Kuala Lumpur	167.2	Fukuoka	26.8	Bangkok	4.8	Sao Paulo	8.5	Bangkok	36.1	Chicago	44.2	Vancouver	26.0
32	Sao Paulo	161.5	Milan	26.5	Mumbai	2.6	Zurich	6.7	Moscow	36.0	Cairo	43.3	Los Angeles	22.5
33	Moscow	160.8	Bangkok	23.4	Sao Paulo	2.6	Taipei	6.5	Los Angeles	35.7	Shanghai	40.0	Geneva	21.9
34	Mumbai	142.4	Mumbai	22.0	Kuala Lumpur	2.6	Geneva	4.5	Boston	34.9	Beijing	35.4	Sao Paulo	20.7
35	Cairo	139.1	Cairo	20.2	Cairo	0.7	Fukuoka	3.5	Hong Kong	33.6	Moscow	25.2	Mumbai	17.2

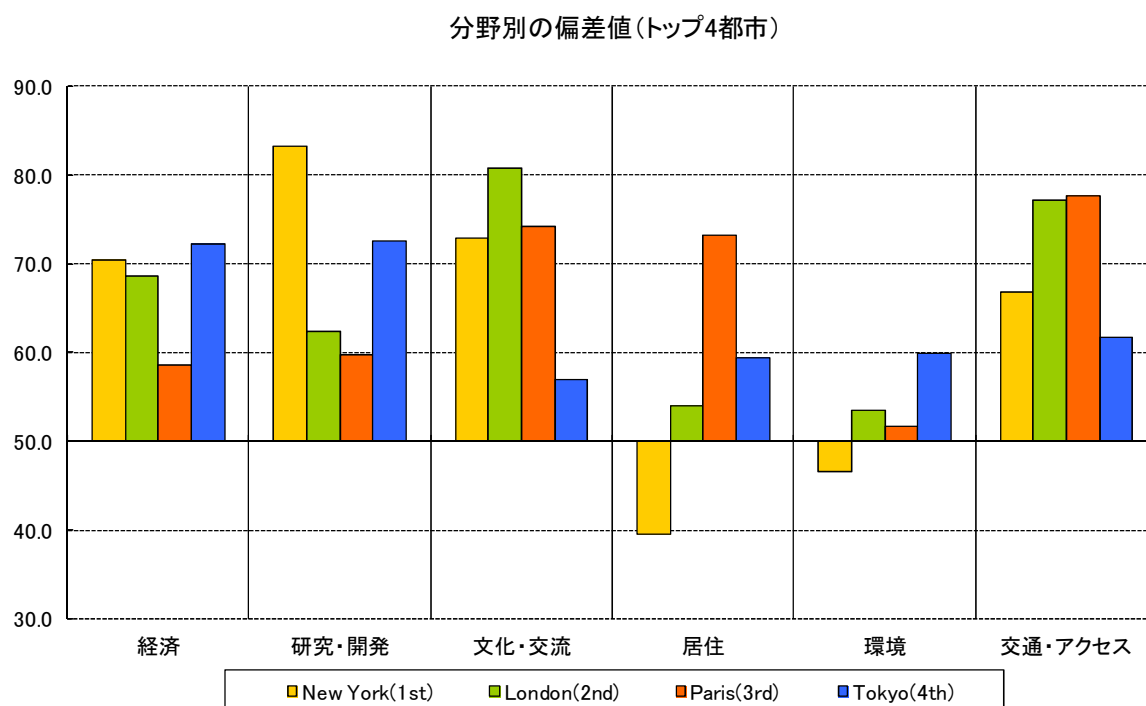
2-3. アクター別ランキング

表 2-2 アクター別ランキング

ランク	経営者	研究者	アーティスト	観光客	生活者					
1	London	55.3	New York	64.7	Paris	60.6	London	54.8	Paris	62.5
2	Singapore	53.7	Tokyo	53.6	London	52.1	New York	52.4	London	56.0
3	Hong Kong	49.6	London	49.8	New York	51.6	Paris	51.8	Tokyo	54.0
4	New York	48.2	Paris	47.6	Tokyo	47.2	Hong Kong	43.3	New York	53.4
5	Beijing	47.5	Boston	37.0	Berlin	44.3	Tokyo	42.0	Zurich	50.8
6	Paris	47.2	Seoul	36.4	Vienna	39.5	Beijing	41.5	Berlin	50.6
7	Shanghai	47.1	Singapore	34.0	Los Angeles	37.1	Shanghai	41.4	Frankfurt	50.5
8	Tokyo	44.8	Los Angeles	33.7	Amsterdam	34.0	Singapore	38.6	Vienna	48.9
9	Zurich	42.2	San Francisco	32.2	Madrid	33.0	Berlin	37.6	Vancouver	48.1
10	Geneva	42.2	Hong Kong	30.2	Milan	32.9	Seoul	35.4	Geneva	47.4
11	Amsterdam	41.0	Sydney	30.0	San Francisco	31.6	Vienna	34.9	Amsterdam	47.2
12	Copenhagen	40.6	Chicago	28.7	Beijing	30.9	Bangkok	34.1	Copenhagen	46.9
13	Seoul	40.5	Berlin	28.4	Osaka	30.6	Madrid	33.3	Osaka	46.5
14	Vancouver	40.4	Vancouver	25.9	Chicago	30.3	Amsterdam	32.5	Hong Kong	45.8
15	Vienna	40.3	Osaka	25.7	Copenhagen	30.2	Milan	32.0	Milan	45.4
16	Berlin	38.2	Amsterdam	25.7	Brussels	30.1	Brussels	30.3	Boston	45.2
17	Frankfurt	38.2	Zurich	25.3	Toronto	29.7	Sydney	30.0	San Francisco	44.7
18	Sydney	37.7	Geneva	24.9	Sydney	29.1	Osaka	30.0	Seoul	43.4
19	Toronto	37.4	Beijing	24.8	Sydney	28.9	Taipei	29.3	Sydney	42.5
20	Taipei	36.9	Vienna	24.6	Vancouver	28.3	Taipei	28.6	Fukuoka	42.4
21	Kuala Lumpur	36.4	Copenhagen	24.4	Frankfurt	27.4	Frankfurt	28.5	Fukuoka	42.2
22	Madrid	36.2	Toronto	23.5	Shanghai	26.8	Los Angeles	28.1	Brussels	42.0
23	Boston	35.6	Toronto	21.7	Boston	26.1	Toronto	27.1	Singapore	42.0
24	Brussels	35.3	Brussels	21.7	Seoul	26.1	Chicago	27.1	Madrid	41.8
25	Osaka	33.5	Moscow	21.6	Moscow	25.2	Vancouver	27.0	Toronto	41.7
26	San Francisco	33.1	Shanghai	21.2	Bangkok	24.6	Vancouver	26.2	Toronto	41.7
27	Sao Paulo	32.8	Taipei	20.3	Bangkok	23.8	Cairo	25.9	Beijing	39.6
28	Los Angeles	32.2	Frankfurt	19.0	Kuala Lumpur	23.7	Boston	25.6	Taipei	37.5
29	Chicago	32.2	Madrid	18.1	Taipei	23.7	San Francisco	25.4	Los Angeles	36.7
30	Fukuoka	30.6	Madrid	17.6	Fukuoka	23.7	Copenhagen	24.6	Shanghai	35.6
31	Bangkok	30.3	Sao Paulo	17.4	Singapore	22.9	Zurich	24.3	Chicago	35.0
32	Milan	29.1	Fukuoka	15.9	Sao Paulo	22.6	Kuala Lumpur	23.8	Moscow	29.0
33	Moscow	29.0	Bangkok	15.0	Zurich	22.5	Fukuoka	23.6	Bangkok	27.5
34	Cairo	27.6	Kuala Lumpur	13.5	Mumbai	22.3	Moscow	22.3	Mumbai	26.7
35	Mumbai	27.4	Mumbai	11.8	Geneva	20.5	Mumbai	20.9	Sao Paulo	26.2
			Cairo	8.2	Cairo	20.4	Geneva	17.2	Cairo	23.3
			Hong Kong		Sao Paulo		Sao Paulo		Kuala Lumpur	

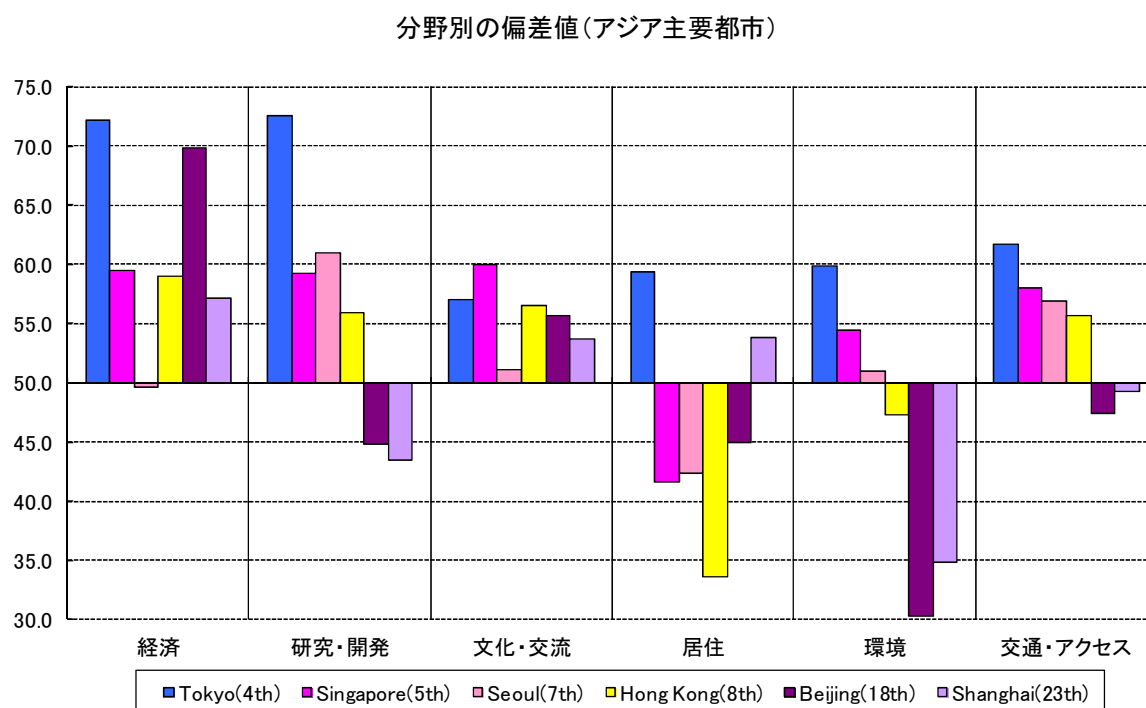
2-4. 分野別総合ランキングトップ4都市の比較分析

図 2-2 分野別の偏差値



2-5. アジア主要都市の比較分析

図 2-3 分野別の偏差値



2-6. 東京の強み・弱みの分析

指標グループ別に見た東京の強み、弱み

- ・ 指標グループ別のスコアの偏差値で見ると、偏差値 65 以上で他の都市に比べて東京が強みを出している指標グループは、「経済」「研究・開発」分野に多く、「文化・交流」分野では“買物と食事”、「居住」分野では“都市生活機能”、「環境」分野では“エコロジー”、「交通・アクセス」分野では“都市内交通インフラ”が強みである。
- ・ 偏差値 50 以下で他の都市に比べて特に弱みとなっている指標グループは、「経済」分野の“法規制・リスク”、「文化・交流」分野の“宿泊環境”、「居住」分野の“住居コスト”、「環境」分野の“自然環境”である。

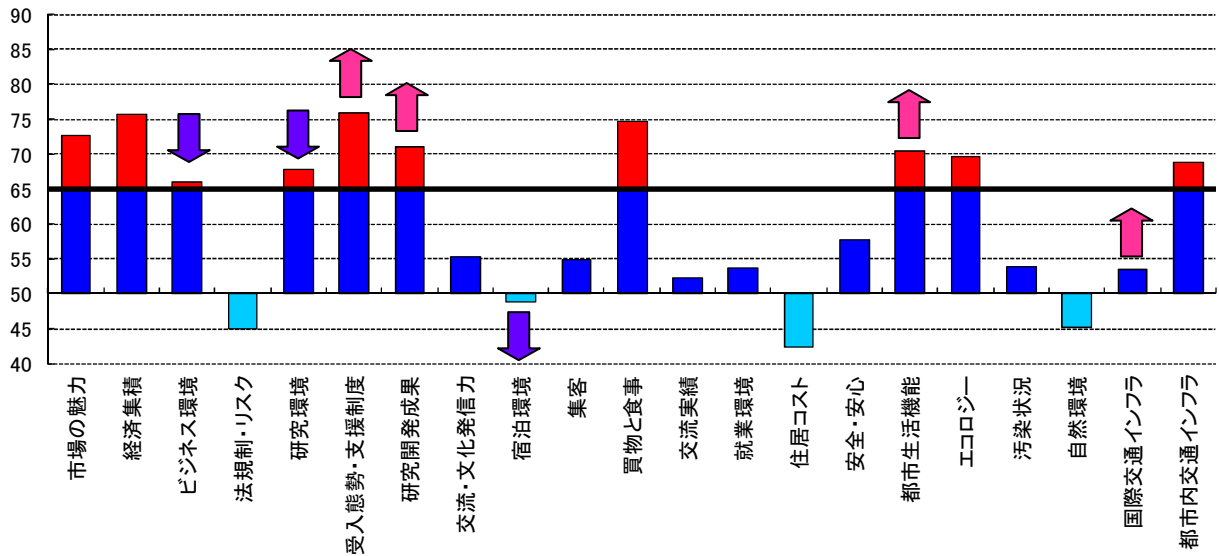
表 2-3 東京の強みと弱みの整理

東京の強み (65 以上)		トップ4都市に比べて 東京がやや弱い(50~65)		東京の弱み (50 以下)	
分野	指標グループ	分野	指標グループ	分野	指標グループ
経済	市場の魅力	文化・交流	交流・文化発信力	経済	法規制・リスク
	経済集積		集客	文化・交流	宿泊環境
	ビジネス環境		交流実績	居住	住居コスト
研究・開発	研究環境	居住	就業環境	環境	自然環境
	受入態勢・支援制度		安全・安心		
	研究開発成果	環境	汚染状況		
文化・交流	買物と食事	交通・アクセス	国際交通インフラ		
居住	都市生活機能				
環境	エコロジー				
交通・アクセス	都市内交通インフラ				

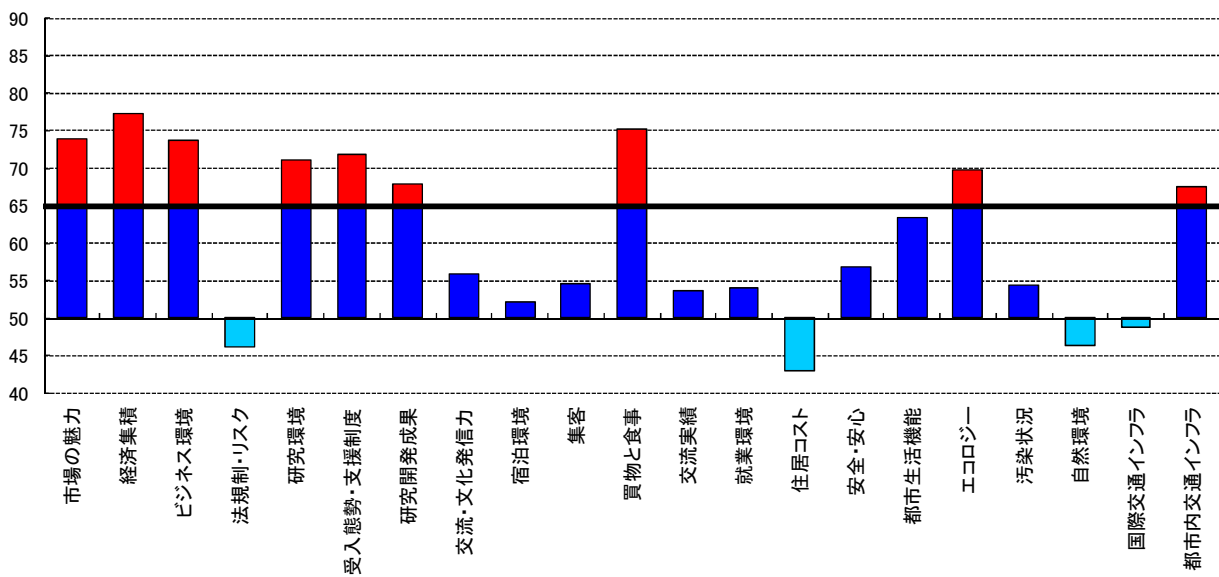
- ・ GPCI-2010 と GPCI-2011 における指標グループ別スコアの偏差値を比較すると、「研究・開発」分野の“受入態勢・支援制度”“研究開発成果”、「居住」分野の“都市生活機能”、「交通・アクセス」分野の“国際交通インフラ”で昨年よりも評価が高まった。
- ・ 一方で、「経済」分野の“ビジネス環境”、「研究・開発」分野の“研究環境”、「文化・交流」分野の“宿泊環境”で、昨年よりも評価が下がった。

図 2-4 指標グループ別偏差値分布（東京）

【GPCI-2011】



【GPCI-2010】

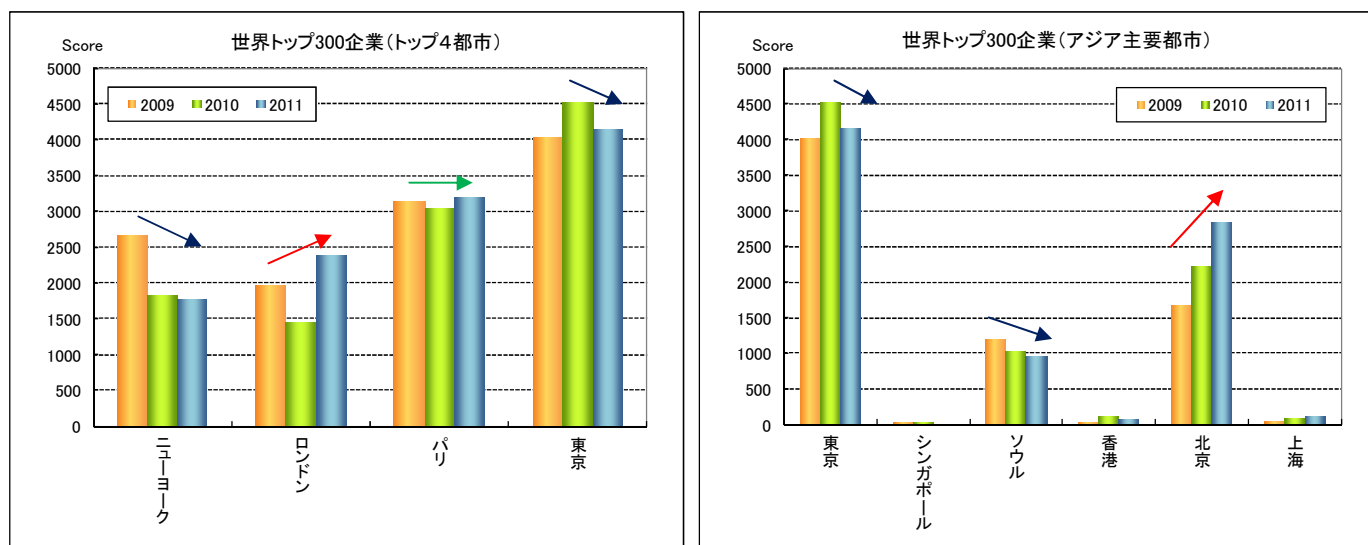


2-7. 経年変化

これまでのランキング作成過程で得られた指標データから東京の凋落傾向を表す指標の一部についての経年比較を以下に示す。なお、比較には GPCI-2009～GPCI-2011 でそれぞれ用いた指標データを利用した。

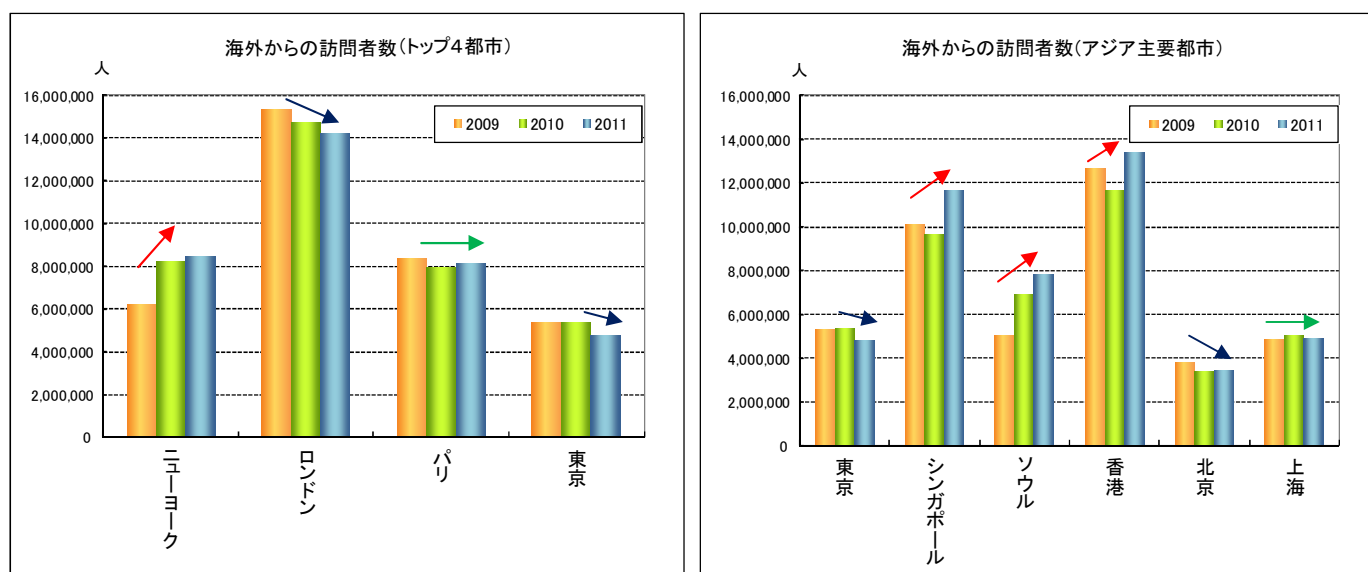
1) 世界トップ 300 企業（指標グループ：経済集積）

図 2-5 世界トップ 300 企業スコア 経年変化



2) 海外からの訪問客数（指標グループ：交流実績）

図 2-6 海外からの訪問客数 経年変化



2011年10月19日発行
編集・発行 財団法人 森記念財団

本報告書に関するお問い合わせ先

財団法人 森記念財団 都市戦略研究所 三輪

住所 東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル
電話 03(6406)6800(代表) 郵便番号 107-6004
E-mail info@mori-m-foundation.or.jp

Copyright © 2011 The Mori Memorial Foundation All Rights Reserved.
無断転載を禁ず

(定価：本体 500 円＋税)

Global Power City Index 2011

1. New York

2. London

3. Paris

4. Tokyo

5. Singapore

6. Berlin

7. Seoul

8. Hong Kong

9. Amsterdam

10. Frankfurt

11. Sydney

12. Vienna

13. Los Angeles

14. Zurich

15. Osaka

16. Boston

17. Geneva

18. Beijing

19. Copenhagen

20. Madrid

21. San Francisco

22. Vancouver

23. Shanghai

24. Brussels

25. Toronto

26. Chicago

27. Milan

28. Fukuoka

29. Taipei

30. Bangkok

31. Kuala Lumpur

32. Sao Paulo

33. Moscow

34. Mumbai

35. Cairo